

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	小山市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	みらい創造キャン プ	総事業費		329,880	600,000	600,000	600,000	2,129,880
		うち市町支出額		100,000	100,000	100,000	0	300,000
		うち県交付金		50,000	50,000	50,000	0	150,000
2	間々田駅東口まつ り	総事業費			1,900,000	2,000,000	2,000,000	5,900,000
		うち市町支出額			500,000	500,000	500,000	1,500,000
		うち県交付金			250,000	250,000	250,000	750,000
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	329,880	2,500,000	2,600,000	2,600,000	8,029,880
		うち市町支出額	0	100,000	600,000	600,000	500,000	1,800,000
		うち県交付金	0	50,000	300,000	300,000	250,000	900,000

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	小山市
事業名	みらい創造キャンプ2023
事業主体の名称	(一社)小山青年会議所
代表者の名称	理事長 稲葉 健太
事業主体の所在	小山市城東1丁目6番36号 (小山商工会議所内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 個人の修練、社会への奉仕、世界との友情を信条とし、社会の開発及び世界の繁栄と平和に寄与すること ・設立年月日: 1969年 ・構成員等: 会の目的に賛同する会員をもって組織する
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本市は、東京圏からの交通の利便性が高く、農・商・工のバランスが良く、市街地の周辺に農地や平地林の田園風景が広がり、市の中心部を流れる思川がコウノトリが定着・繁殖したラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」につながる魅力ある自然環境を有する田園環境都市である。しかし、実際こうした魅力ある地域資源に気付いていない市民も多いことから、イベント等を通してその自然の魅力に触れてもらう機会の創出が必要である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の持っている価値に気づき、それを体験し、自分で誰かに伝えたい」という仕組みを作るため、自然と直接触れ合うキャンプという手法を取り入れ、魚つかみ取りやおやまの魅力ハンティング(トレジャーハンティング)イベント、大人のアウトドアアクッキングなどの体験イベントに参加いただくことで、地域に対する愛着が深まり、市の持つ魅力を市内外に発信していくこととする意識の醸成を図ることを目的とする。 ・首都圏等の県外からの参加者については、これらの体験や地域の人々との交流等をおとして感じた本市の魅力をSNSでの発信に協力していただくことで関係人口としていく。
事業概要	<p>関係人口の分類【I-d】 令和5年度 ○「みらい創造キャンプ2023」の開催 ・日時: 5月27日(土)～5月28日(日) ・場所: 小山総合公園 ・内容: 自然体験イベント ①魚つかみ取り ②おやまの魅力ハンティング(トレジャーハンティング) ③大人のアウトドアアクッキング おやまの魅力発信 ①参加者にイベントの感想等をInstagramやTwitterで配信してもらい、おやまの魅力を再発見していただくことで、関係人口化を図る。 ②主催者側で参加者の感想コメントを別途情報発信し、市の魅力を市内外に周知する。</p> <p>令和6年度以降 ・上記事業の継続並びに内容の充実を図る</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標【基本目標2 おやまに新しい人の流れをつくる】 【成果指標】小山ファンクラブ「小山評定ふるさと応援隊」隊員数 R元:1,113人 → R6:5,000人 * 第2次小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	○みらい創造キャンプ2022 ・日時: 4月30日(土)～5月1日(日) ・場所: 小山総合公園 ・内容: ①自然体験イベント ・ヨシ灯り作り ・魚つかみ取り ・ツリークライミング ②おやまの魅力発信 参加者に小山の魅力についてコメントをもらい主催者側で情報発信するとともに、参加者からもInstagramやTwitter等で配信してもらうよう案内する	○みらい創造キャンプ2023 ・日時: 5月27日(土)～28日(日) ・場所: 小山総合公園 ・内容: ①自然体験イベント各種 ・魚つかみ取り ・おやまの魅力ハンティング ・大人のアウトドアアクッキング ②おやまの魅力発信 参加者に小山の魅力についてコメントをもらい主催者側で情報発信するとともに、参加者からもInstagramやTwitter等で配信してもらうよう案内する	○みらい創造キャンプ2024 ・内容: ①自然体験イベント各種 ②おやまの魅力発信 参加者に小山の魅力についてコメントをもらい主催者側で情報発信するとともに、参加者からもInstagramやTwitter等で配信してもらうよう案内する		○みらい創造キャンプ2025 ・内容: ①自然体験イベント各種 ②おやまの魅力発信 参加者に小山の魅力についてコメントをもらい主催者側で情報発信するとともに、参加者からもInstagramやTwitter等で配信してもらうよう案内する
事業費	329,880	600,000	600,000	1,529,880	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	0
うち県交付金	50,000	50,000	50,000	150,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	229,880	500,000	500,000	1,229,880	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商業観光課
担当者名	飯塚
電話	0285-22-9275
FAX	0285-22-9256
E-mail	d-kankou@city.ovama.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	小山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みらい創造キャンプ2023	
対象年度	R5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
事業費	50,000	小山青年会議所事業費
参加者負担金	450,000	キャンプ参加費(@3,000円×100サイト)、大人のアウトアクッキング(@5,000円×30組)
補助金	100,000	小山市
計	600,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	25,000			25,000	謝礼
消耗品費	301,650	80,000	40,000	221,650	看板、食材、調理用具、結束バンド、プレート、土嚢、ネット等
印刷製本費	60,000			60,000	ポスター、チラシ作成費
広告費	25,000			25,000	Facebook広告費
委託料	139,000			139,000	夜間警備、調理講師派遣
使用料及び賃借料	45,350	20,000	10,000	25,350	受付用テント・テーブル、テントウエイト、カラーコーン
予備費	4,000			4,000	予備費
				0	
				0	
				0	
計	600,000	100,000	50,000	500,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	小山市
事業名	間々田駅東口まつり
事業主体の名称	間々田駅東口まつり実行委員会
代表者の名称	会長 島森 俊一
事業主体の所在	小山市大字乙女453-19
事業主体の概要	<p>・団体の目的:間々田駅周辺及び駅東口地区のまちづくりの一環として、祭を通して地元の伝統芸能の保存・継承等をめざし、地域の様々な人々や団体が結びつき、協働による優良な“まちおこし”を実現し、地域の活性化を図る。</p> <p>・設立年月日:平成22年7月20日</p> <p>・構成員等:団体の目的に賛同する機関、団体等を以て組織する。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>間々田駅周辺は昭和から平成にかけて土地区画整理事業が実施された地区が広がるものの、道を挟んで未整備地区も多く存在する事から、地域住民を主体としたまちづくり団体を組織し、まちづくり活動を行ってきた。この様な中で間々田駅東口駅前広場の整備完了を契機として、平成22年より「間々田駅東口まつり」を開催している。地方都市の駅周辺の魅力が相対的に低下する中、発足時は5自治会、3まちづくり団体が実行委員会を構成していたが、現在5自治会4まちづくり団体となっており、地元住民の交流による魅力向上に向け、更なる組織の拡充に取り組んでいる。</p>
事業目的	<p>住民自ら参加する「まつり」を通して、自治会及びまちづくり協議会相互の連帯意識の醸成を図り、住民主体の地域運営と地域コミュニティの維持・向上により、駅に近くて住みやすく、心のふれあいのあるまちづくりを目指す。</p> <p>また、地元南飯田神田囃子をはじめとした伝統芸能の復活・保存・継承並びに地域への愛着、誇りの醸成、魅力の再発見等により、若者を中心とした世代の地元への帰帰・定住につながる端緒としたい。</p> <p>令和元年は台風19号の影響により中止、また令和2年～4年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、令和5年は実施を予定しており、本事業においては第10回の節目を迎えることから、規模を拡大し近隣自治会にも参加を募ることで、より広い市民の交流の場を提供する。また、地域が昔から持つ価値に気づき、それを体験し、自分で誰かに伝えたいなる仕組みを構築することにより、市民の意識を変え、当地の未来を魅力溢れるものにする事を目指す。</p>
事業概要	<p>令和5年度 ○第10回間々田駅東口まつりの開催 ・日 時:令和5年10月(予定) ・場 所:もみじ公園、きみぼ敷地内、市道3212号線(歩行者天国) ・内 容:①南飯田神田囃子、乙女和太鼓、日本舞踊、大正琴、フラダンス、カラオケ等の演技発表 ②地元商店や自治会の模擬店の出店販売 ③フリーマーケット、青空市場、授産品販売 ④輪投げ、グラウンドゴルフ、地上ボウリング、ヨーヨー釣り、金魚すくい等の遊びコーナー設置 ⑤似顔絵、折り紙等の体験教室、甲冑試着、折り紙武者行列体験 ⑥福引コーナーでの抽選会 ⑦駅東口美化事業及び間々田ふるさとまつり等に参加・協力 ・その他:交流人口を増やすため、SNSでの発信や、市外にポスターを掲示するなどして、市外からの集客を図る。 今年度は、参加者之間々田駅東口まつりの感想等をSNSなどで自ら発信してもらうことにより、地域の持つ魅力を再発見してもらい、加えてシビックプライドの向上を図る。</p> <p>【関係人口: I-d】</p> <p>令和6年度以降 ・上記事業の継続並びに参加区域、規模の充実を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標【基本目標2 おやまに新たな時代に合った持続可能な地域をつくり、安全・安心で快適な暮らしを守る】 【成果指標】住みやすいと感じる人の割合 R元:84% → R6:90%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 南飯田神田囃子、乙女和太鼓、日本舞踊等の演技発表 模擬店の出店販売 フリーマーケット、青空市場、授産品販売 輪投げ等の遊びコーナー設置 折り紙等の体験コーナー 福引コーナー抽選会 駅東口美化事業へ参加 	<ul style="list-style-type: none"> 南飯田神田囃子、乙女和太鼓、日本舞踊等の演技発表 模擬店の出店販売 フリーマーケット、青空市場、授産品販売 輪投げ等の遊びコーナー設置 折り紙等の体験コーナー 福引コーナー抽選会 駅東口美化事業へ参加 	<ul style="list-style-type: none"> 南飯田神田囃子、乙女和太鼓、日本舞踊等の演技発表 模擬店の出店販売 フリーマーケット、青空市場、授産品販売 輪投げ等の遊びコーナー設置 折り紙等の体験コーナー 福引コーナー抽選会 駅東口美化事業へ参加 		<ul style="list-style-type: none"> 南飯田神田囃子、乙女和太鼓、日本舞踊等の演技発表 模擬店の出店販売 フリーマーケット、青空市場、授産品販売 輪投げ等の遊びコーナー設置 折り紙等の体験コーナー 福引コーナー抽選会 駅東口美化事業へ参加
事業費	1,900,000	2,000,000	2,000,000	5,900,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,400,000	1,500,000	1,500,000	4,400,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商業観光課
担当者名	飯塚
電話	0285-22-9275
FAX	0285-22-9256
E-mail	d-kankou@city.ovama.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	小山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	間々田駅東口まつり	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	500,000	小山市
団体負担金	144,000	参加自治会負担金(@150×世帯割)
出店者負担金	40,000	出店者負担金
飲食遊戯等売上	206,000	飲食遊戯オリジナルTシャツ売上
雑収入	400,000	協賛金、祝金、預金利息等
運営対策引当金戻入	500,000	運営対策引当金戻入
繰越金	110,000	前年度繰越金
計	1,900,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	100,000			100,000	協力団体への謝礼
消耗品費	325,000	100,000	50,000	225,000	ラミネート、コピー用紙、イベント消耗品、景品等
食糧費	230,000			230,000	会議用飲み物代、スタッフ飲食代
修繕料	10,000	10,000	5,000	0	ステージ補修代
通信運搬費	40,000	40,000	20,000	0	切手、郵便代
広告料	110,000	60,000	30,000	50,000	新聞折り込み、合図煙火代
使用料及び賃借料	442,000	250,000	125,000	192,000	テント、トラック、音響装置、会議室、イベント機材借上げ代
工事請負費	87,000	40,000	20,000	47,000	仮設電気工事費
原材料費	210,000			210,000	かき氷、焼きそば、綿あめ、ポップコーン等模擬店材料費
寄付金	30,000			30,000	どんぶり基金寄付金
雑費	290,000			290,000	オリジナルTシャツ作成、会場借用謝礼・接待、その他経費
予備費	26,000			26,000	予備費
計	1,900,000	500,000	250,000	1,400,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合